

# 12月大天体ショーが始まる



**肉眼で金星を見てみないか!!**  
**最大光度の日を狙え! 12月8日だ!!**

今回はたびたび登場している金星について探ってみたいと思います。今頃はちょうどどの宵の明星として

て、その存在を誇示しているかのようにも明るく、まるで恒星のように輝いて見えますね。その金星を昼間に望遠鏡を使わずに見ようというのです。はたして、そのようなことが可能なのでしょうか。

金星は内惑星といつて太陽と地球の間を太陽を中心として公転していますね。ちょうど今は太陽の向こう側を抜け地球に近づいてきているところなんです。その光度は12月8日に最大となりまして。ここで疑問が湧きます。月の場合は満月の時が最大光度となります。金星も満ち欠けをします。ということはどうなるのかということと、満月のように見えてくるときが最大光度となるのかということと、そつではありません。月の場合は地球からの距離が楕円軌道で

# プラネ新聞

発行所 岐阜市科学館  
〒500-8389  
岐阜市本荘3456-41  
TEL: 058-272-1333  
FAX: 058-272-1303

はあるもののほぼ同じと考えてよいでしょう。ですから満月の時に一番明るく見えます。しかし、金星の場合、内惑星ですから満月のように見えるのは地球から一番離れた太陽の向こう側にあるときです。明るさは距離の二乗に反比例しますね。つまり距離が離れすぎているために、明るくはありません。では一番地球に近づいた時が明るいのでしょうかと思いますが、今度は月でいうと三日月のように細くなり、明るい面積はほとんどありません。そこで計算により左上图のように、12月8日が一番明るいというわけです。晴天であれば、図のようにすれば見ることが出来るかもしれません。何事も挑戦です。肉眼で金星を見よう。



大人気プラネタリウム番組続々コーナー「ノーマン・ザ・スノーマン」

待望の最新番組「ノーマン・ザ・スノーマン」北国のオーロラが始まりました。少年が、毎年冬の季節に出会うスノーマンと一緒に、スノーマンの故郷へ旅するお話です。スノーマンが暮らす北国では神秘的なオーロラや満天の星が夜空を彩り、ドームいっばいに広がります。さまざまな出会いを通じて成長する少年の心を、1コマずつ丁寧にコマ撮りされた人形アニメーションの優しい動きによって、家族みんなで楽しめる素敵な珠玉のプラネタリウムファンタジー作品となっています。是非来年2月27日までの放映です。是非ご覧ください。前半はステキな生解説付きですよ。

## 海獣くじらの悩み!

今月はくじら座のお話です。南の空に悠然と横たわっているくじらはいかに強そうですね。いや、確かに凶暴で強かったのです。神話では、「お化けくじら」として、海の神ポセイドンから命を受け、エチオピア王家のアンドロメダ姫を食べ殺すためにエチオピアの海岸に派遣されたました。そこで彼は大暴れをしたのです。大波を立てて、人々の家を流し、破壊しました。また、大勢の人も亡くなりました。この海にあってまさしく最強の海獣だったのです。このくじらを鎮めるために生け贄に差し出されたのがアンドロメダ姫です。

した。さあ、いまにも食べ殺されるか、という神話です。続きはプラネタリウムで、ということにして、このくじらにも、大きな悩みがあったのです。それは、左の図をご覧ください。その中にくじらがありますが、その頭の上には、お尻をすりつけ、ちょこんと座っている羊がいるではありませんか。おひつじ座です。毎日毎日365日ずっとこの状態が続くのです。くじらからすればうっとうしくてたまらぬでしょうね。

このおひつじ座はとも由緒ある星座で、黄道12星座の一つでもありますね。また、ゼウスの化身ともいわれています。まあ、くじらにはそんなことで我慢をせよというかなさそうです。

